

C 協働学習 (C1) 主な学習活動 走り幅跳びの記録を測定する。

1 本時のねらい

タブレットを活用し、自分の動きの変化を視覚的に捉えることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

オクリンク

Google Classroom

3 参考にしてほしいポイント

Classroomを活用し、走り幅跳びの見本の動画を資料として投稿し、自分のフォームと比べることができる。また、オクリンクを使い、単元の初め、終わりにおける走り幅跳びの助走・空中動作・着地を撮影・記録し、最後に比較することで、自分の動きの変化を視覚的に捉えることができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開 まとめ	走り幅跳びの助走・空中動作・着地を撮影し、今までの動きの変化と比較する。	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクを活用することで、生徒同士で動画を簡単に送信することができるため、グループ(4, 5人)で一台のタブレットで撮影することができる。 ・オクリンク内で、自分のフォームをつなぎ合わせ、時間系列で動きの変化を分かりやすく見ることができる。 ・オクリンク内で、単元の初めと終わりの動画をつなぎ合わせて提出させることで、フォームの変化も評価することができる。

タブレット



跳び方はどうかなあ？



フォームが良くなった!!

4 活用効果

振り返りの際に、測定した記録の変化を見て授業の成果を実感するだけでなく、動画を撮影することによって、記録の変化があまりなかった生徒でも、自分の動きの変化を実感することができた。また、自分のフォームと見本のフォームを見比べることによって、自分に足りていないポイントに自ら気づき、練習に活かすことができた。